

CFパネル工法 (旧名称：エナックスパネル工法)

NETIS登録番号：(旧) KT-010179

CFパネル工法研究会

〒106-6033 東京都港区六本木1-6-1 成和リニューアルワークス株式会社

TEL 03-3568-8568 FAX 03-3568-8567

URL <http://www.cfp-koho.jp/>

mail info@cfp-koho.jp

[正会員] アルス株式会社、株式会社内田工業、エスイーリベア株式会社、株式会社小宮山、四国リニューアル株式会社、(有)上下水管理工業、成和リニューアルワークス株式会社、株式会社マシノ、株式会社松井商店、株式会社マノール、株式会社六治建設
[準会員] 株式会社アルテコ、株式会社タカラ工芸社、司産業株式会社、株式会社ノザワ、前田工機株式会社



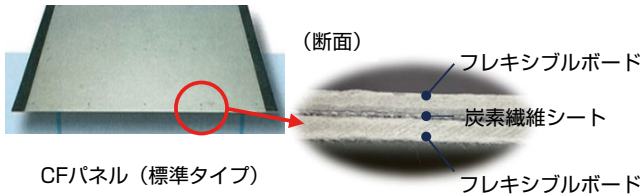
トンネル内面補強 (R=3.34m)



トンネル内面補強 (R=2.0m)

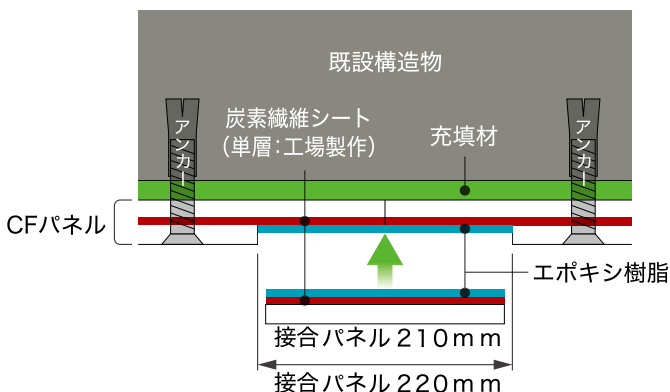
概要

CFパネル工法は、炭素繊維シートを挟み込んだ、高強度で軽量かつ耐候性に優れたCFパネルを既設コンクリート構造物表面に取り付け一体化することで、「コンクリート片のはく落防止」や「曲げ耐力の向上」または「耐震性能の向上」などを実現する工法である。



CFパネルは、工場にてエポキシ樹脂を含浸した連続炭素繊維シートを二枚のフレキシブルボード（厚さ3mm）で挟み込んで一体成形した炭素繊維シート複合パネルである。

CFパネルには、一方向または二方向に接合部を有する本体パネルと、本体パネル同士を接合するために用いる接合パネルの二種類で構成される。本体パネルを取り付けた後に接合パネルを取り付け一体化する。パネルの取り付けにはステンレス製のアンカーを使用しCFパネル背面にはエポキシ樹脂またはセメント系無収縮グラウトを充填して既設コンクリート構造物と一体化する。

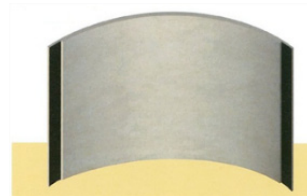


特長



基本形状

本体パネルは、幅1m×長さ2mの平板タイプが標準で、1㎡当たりの重量は10kg程度である。その他にトンネル覆工コンクリートの曲率に応じてR加工した曲面形や、コンクリート構造物の形状や施工条件に合わせて断面形状をL形や“コ”字”形などに加工することも可能。パネル端部には隣接するパネルと接合するため、接合部（一方向と二方向の二種類）を設けている。



CFパネル (Rタイプ)



CFパネル (耐震補強用)
(NETIS登録番号：KT-170060-A)

種類・用途

「トンネルの内面補強」を対象とした「標準パネル」（一般的に炭素繊維シートの目付量400g/㎡以下の製品）に加え、「鉄道高架橋コンクリート柱の耐震性向上」を目的とした炭素繊維シート量の多い「耐震補強用パネル」がある。既設コンクリート構造物のコンクリート片のはく落防止、曲げ耐力や耐震性能の向上、各種劣化対策およびリニューアル工事など、使用目的に応じて最適な製品を選択できる。